

Captain English Course I, II Revised

歌や映画を通して英語への興味を引き出す



坂本貴之

本校は総合学科ということで ALT が常駐という恵まれた環境にある。しかし、入学時の生徒の学力は「ほとんど学んでいない」状態である。大半の生徒は英語に対して苦手意識を持ち、苦痛のような表情で授業を受けている。

そんな1年生を指導する上で配慮しなくてはならないことは、①いかに英語恐怖症を取り除けるか、②英語が楽しいと感じさせられるか、③多少なりとも自信をつけさせられるかだと考える。中学校の時、「どの辺でつまずいたか」を確認しながら、時間をかけて順序だった学習をさせることが重要である。本稿では、上記の目標を達成するために行った授業実践例と教材の選び方について紹介した。参考にしていただければ幸いである。

◆授業の進め方

英語 I は現在3単位で行っている。内1単位は ALT とのティーム・ティーチングで主に異文化理解に焦点を当て、外国の教育システムや行事について学んだり、簡単な英会話や歌、ゲーム、クイズなどを行っている。生徒全員が授業に参加でき、楽しく笑顔で学べるように ALT と協力してティーチングプランを立てている。

教科書 *Captain I* からは、興味深い教材を適宜選んで、「英語が楽しい」と実感できるようにできるだけアレンジして授業に取り入れている。

◆教科書の選び方

私が教科書を選ぶ上で重要視しているのは実は付録の部分である。特に映画や歌などは異文化や

生き方を学ぶ上で有効であり、生徒が自己を見つめ、生きる目的を考えるいい機会となる。

Captain I を選んだ理由は2つの付録にある。1つは『世界に一つだけの花』の英訳歌詞 (One of a Kind) が載っており、英語バージョンの CD も用意されていること。もう1つは巻末の Reading 教材に『The Best Lesson』が取り上げられていることである。こちらは『Music of the Heart』という実話に基づいた映画を扱っており、「自分を信じることの大切さ」を示した素晴らしい作品で私の大好きな映画の1本である。

◆授業実践例 [1]

Lesson 1 『Not No. 1 but the Only One』

SMAP の『世界に一つだけの花』は生徒全員が歌うことのできる名曲である。

①まずは「これから頑張るぞ!」という気持ちを強く持ってほしい旨を伝え、中学生までの自分をリセットするように助言した。

②次にコラムにある英訳歌詞 (pp. 20~21) を用い、生徒それぞれが自分の言葉に自由に置き換えて、簡単なオリジナルの意識をする作業をさせた。生徒は想像以上に楽しんで取り組んでいた。

③1行ずつ生徒に発表してもらい、素晴らしい意識がたくさん出て本当に驚かされた。生徒の可能性を十分に感じると共に、生徒にとっては少し自信を持てた瞬間だったように思う。

④最後に私と ALT の David 先生の訳例を比較させ、読んだ感想を自由に述べてもらった。私はやや堅い言葉で訳し、David 先生には「今知って

いる日本語で小さな子どもでもわかるようにやさしく訳してほしい」とリクエストした。生徒は当然ながら David 先生の優しい心の込められた、そしてシンプルな訳し方（日本語）に心打たれ、意訳の素晴らしさを実感したようである。カラオケを使って日本語と英語の『世界に一つだけの花』をみんなで合唱し、大変思い出深い授業となった。授業後の David 先生の感想を紹介したい。

I first heard this song as an exchange student in Japan two years ago, but at the time I had no idea what the song was about. Being able to perform the song in class with Sakamoto-sensei and the students was really a great opportunity for me to see the true meaning of the lyrics for the first time. I think it has a very positive message, and I'm very happy we could talk about it in class.

In our modern world, we are often encouraged to compete with others in order to get the best grades, jobs, and opportunities. But sometimes we forget that we are all really the same; we are all human; we all hold an equal value. Each of us has our own characteristics, our own strengths, and our own weaknesses, but we are essentially one people; one human race.

When I read the lyrics of "One of a Kind," it makes me want to encourage my students to grow and bloom into the beautiful flowers that I know they can become one day. I hope we will have more opportunities to have classes like this in the future. David Ashworth (ALT)

◆授業実践例 [2]

Reading 教材『The Best Lesson』

2000年に上映された『Music of the Heart』は実話に基づいた映画である。「ニューヨーク市イースト・ハーレムの小学校にやってきたヴァイオリン教師ロベルタ・ガスパリ。彼女の熱心な指導

に子どもたちは音楽にふれあう喜びを感じ、心を開く。しかし市の教育委員会は音楽科目の予算削減を決定、クラスは存続の危機に立たされる。自分に誇りを持ちかけていた子どもたちのため、ロベルタはある決意をする」という内容である。

① *Captain I* にはとても勉強しやすくできている『学習ノート』がある。映画を鑑賞させる準備段階にこの学習ノートを用いた。冬休みの宿題として pp. 81~91 を自学させた。大半の生徒は内容に興味を示し、きちんと課題をこなしてきた。

② 1 行ずつ生徒に和訳させながら、米国のイースト・ハーレム地区や銃社会の実態について説明。

③ 映画を鑑賞した後、DVD の映像特典「ロベルタ・ガスパリ来日時インタビュー」を見せ、彼女の生き方や音楽に対する思い等を感じてもらった。

④ 最後に映画から何を学んだか、感想文を書かせた。以下は感想文の抜粋である。

- ・今の自分はすぐに諦めたり、逃げてしまうので自分を信じることができない。どうすれば自分を信じられるかを考えるいい機会となった。
- ・だらだら生きている自分が恥ずかしくなった。
- ・これから自分も目標を立てて頑張り、達成感を味わってみたい。
- ・何事も諦めずに頑張ることが大切で、お金のためではなく人のためになりたい。
- ・初めて字幕で映画を観て、夢中になった。

【その他の推薦映画（実話編）】

- ・遠い空の向こうに ・コーチ・カーター
- ・レッスン！ ・オールド・ルーキー
- ・タイタンズを忘れない ・ルディ

* * *

我々の仕事は「いかに英語に興味を持たせるか」に尽きると思う。これからも英語を通して「楽しく生きること、諦めずに頑張ること」を教えるために工夫を凝らした授業を行っていきいたいと思う。

* この実践例は前任校千葉県立八街^{やちまた}高等学校校でのものです。

（さかもと たかゆき・千葉県立検見川高等学校教諭）